

相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和8年4月～6月)

事業者向け (BtoB) の業種を中心に売上の減少、仕入単価の上昇を要因として景況が悪化し、製造業は「雨」の厳しい状況となった。小売業・卸売業のみ改善したが、全体としては前期より5ポイント悪化し、次期も同様な景況が続く見込みである。



ポイント

- ▶ 令和8年4月～6月期の総合業況DIは▲24と、前期▲19から5ポイントの悪化であった。小売業・卸売業（前期▲26・今期▲21）は5ポイント改善した。飲食業・サービス業（前期▲17・今期▲20）は3ポイントと小幅の減少であった。製造業（前期▲23・今期▲33）と建設業（前期▲14・今期▲24）は10ポイントの大幅な悪化であった。事業者向け（BtoB）業種の景況のほうが悪化しているようである。製造業が「雨」になった以外は「小雨」の業況である。
- ▶ コメントによると、中東情勢による原材料・資材不足や仕入単価上昇の声が全業種で多数を占める。製造業ではコスト上昇と価格転嫁の困難さ、建設業では資材不足による工期への影響が懸念されている。小売業・卸売業、飲食業・サービス業では引き続き物価高と個人消費の低迷が課題となっている。業界や顧客の生成AI活用に関するコメントも増えてきている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲26と、今期▲24から2ポイントの減少であまり変わらない見込み。製造業（今期▲33・次期▲32）は1ポイントの改善、飲食業・サービス業（今期▲20・次期▲21）は1ポイントの減少でほぼ変わらない見込みである。小売業・卸売業（今期▲21・次期▲24）は3ポイントの減少で小幅の悪化。建設業（今期▲24・次期▲30）は6ポイントの減少と悪化が続く予想である。



各業界から寄せられたコメント

装置製造・設置業

去年の同月があまりにもひどかった。それに比べると今期は順調の予定。作業員不足でどこまで仕事量をこなせるかが勝負。

建設業

中東の影響で塩ビ、塗料関連の不足、建築工期の延期。

卸売業

趣味の選択肢が増加し、流行り廃りによる波を受けている。産業として衰退傾向か。

整体院

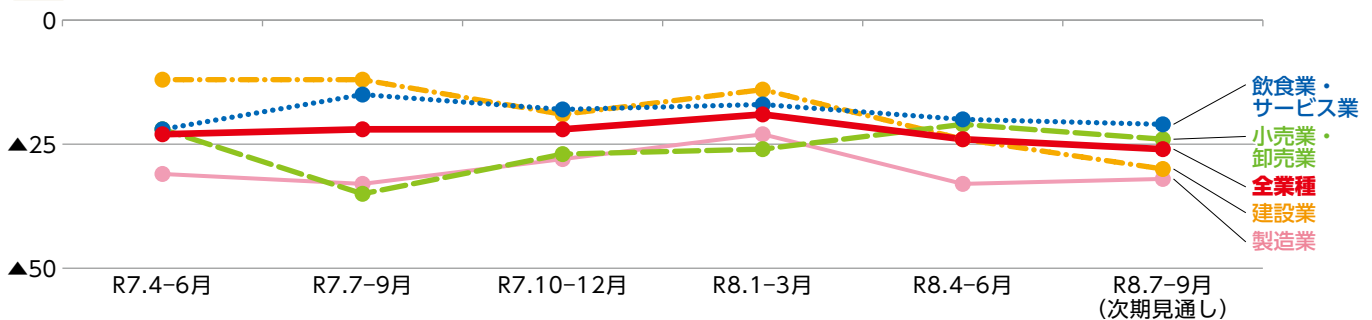
お客様が、生成AIでいろいろ調べて来るようになった。

不動産賃貸業

賃貸建物のリフォーム代が高くなっている。



業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R7.4-6)	前々々期概況 (R7.7-9)	前々期概況 (R7.10-12)	前期概況 (R8.1-3)	今期概況 (R8.4-6)	次期見通し (R8.7-9)
製 造 業	▲ 31	▲ 33	▲ 28	▲ 23	▲ 33	▲ 32
建 設 業	▲ 12	▲ 12	▲ 19	▲ 14	▲ 24	▲ 30
小 売 業 卸 売 業	▲ 22	▲ 35	▲ 27	▲ 26	▲ 21	▲ 24
飲 食 業 サ ー ビ ス 業	▲ 22	▲ 15	▲ 18	▲ 17	▲ 20	▲ 21
全 業 種 (総 合)	▲ 23	▲ 22	▲ 22	▲ 19	▲ 24	▲ 26



業況天気図 凡 例	快 晴 DI値 31以上	晴 れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小 雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以上
--------------	---------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	--------------------

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和8年4月1日～6月30日

回答率：19.8%

回答者数：733件

調査対象：当所会員事業所3,695事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しています。

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>

データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

